

少子化ストップのために考えること

本市では、数年前から取り組み始めた結婚相談・支援センターを拠点としての結婚支援や、出産祝い金の支給、子どもに対する医療費の無料化などを含め、市民の皆さんのご協力をいただきながら、結婚・出産・乳幼児期・学齢期における40余りの子育て支援事業を行っています。

そのような中、合計特殊出生率（2年後に発表）は、平成初期の数年間約1・9前後であったものが、その後一貫して下がり続けました。最低の1・3を記録した平成16年を境に上昇傾向になり、平成27年の1・81を経て、その後3年間は1・6台に留まっています。最近の国内の様々な状況を見る限り、現状の支援策のみではこれ以上の上昇は難しく、新たな取り組みが必要であると感じています。

国全体で言えば、1990年前半以降、所得が伸びなかったため、結婚に踏み切れなかった人が多くいる一方、結婚した若いカップルは、多くは共働きし

なければ家庭を維持しにくい状況下で、労働環境などにも左右

されながら、子育てに苦勞しており、ここに非婚化と少子化の根本原因があるとされています。

これを克服するためには、長年言われ続けてきているように

「市民所得の向上」と「ワークライフバランス」と男女共同参画の深化により若いカップルが家庭を築き、子どもを産み育てやすい社会環境を創ることが必要です。

■市民所得の向上

復興需要は平成27年をピークに年々減少しつつありますが、幸い、市民所得は震災前より約1・4倍に上昇したままで推移しています（岩手県市町村民経済計算年報平成30年版、2年後に発表）。

今後は、生産性と市民所得の向上を基本として策定した「第2期大船渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を産学官連携してしっかりフォローし、さらなる上昇を目指します。

■ワークライフバランスと男女共同参画の深化

・ワークライフバランスが深まり、男女が共に家事などを分担することが当たり前にならないと、少子化に歯止めはかからない。

・多様な生き方を許容する職場づくりが大切。共働きが増えて価値観も多様になっているのに、働き方はいまなお極めて単一であり、これが子育ての壁になっている。

・夫から家事と育児への協力が得られず、第2子を諦める人も多い。

これらを改善するのは難しい取り組みですが、実現するよう努力していかねばなりません。

団塊ジュニア世代の出産期は、大震災前後の約10年間であり、既に過ぎました。今後は、お父さんやお母さんになる人口が減少し続けますので、生まれてくる赤ちゃんも減り続けます。ただし、前述の2つの取り組みをしっかりと行うことで合計特殊出生率に良い影響が及ぶものと思えます。

今を生きる我々は、将来の世代のためにも、これを実現しなければなりません。皆さんのご協力を宜しくお願いします。

3x3 OFUNATO CUPを開催します

キャッセン大船渡を会場に開催する「3x3 OFUNATO CUP」の参加チームを募集します。

東京2020オリンピックから正式種目として採用される3x3を体験してみませんか。

▷日時＝6月27日(日)午前9時から

※受け付けは午前8時から

▷会場＝キャッセン大船渡モール&パティオ駐車場

▷対象

- ・一般の部＝高校生以上の男女
- ・中学生の部＝中学1年生～3年生までの男女
- ※1チーム3人以上の編成とします。

▷参加料

- ・一般の部＝1チーム3,000円（高校生は1チーム2,000円）
- ・中学生の部＝1チーム1,000円



※参加料は、当日の受付時に徴収します。

▷競技方法

- ・FIBA 3x3 競技規則に準じます。
- ・1次ラウンドはグループリーグ方式です。
- ・決勝ラウンドはトーナメント方式です。
- ・試合時間は7分間とします。ただし、決勝ラウンドからは、10分間の1ピリオドとします。
- ▷申込方法＝様式に記入の上、直接持参するか、ファクスまたはEメールで提出してください。様式は生涯学習課に備え付けているほか、市ホームページにも掲載しています。

▷申込締切日＝6月18(金)

▷申込先・問い合わせ先＝協働まちづくり部生涯学習課スポーツ推進係(☎内線288)

▷Eメール＝ofu_syo-gaku@city.ofunato.iwate.jp